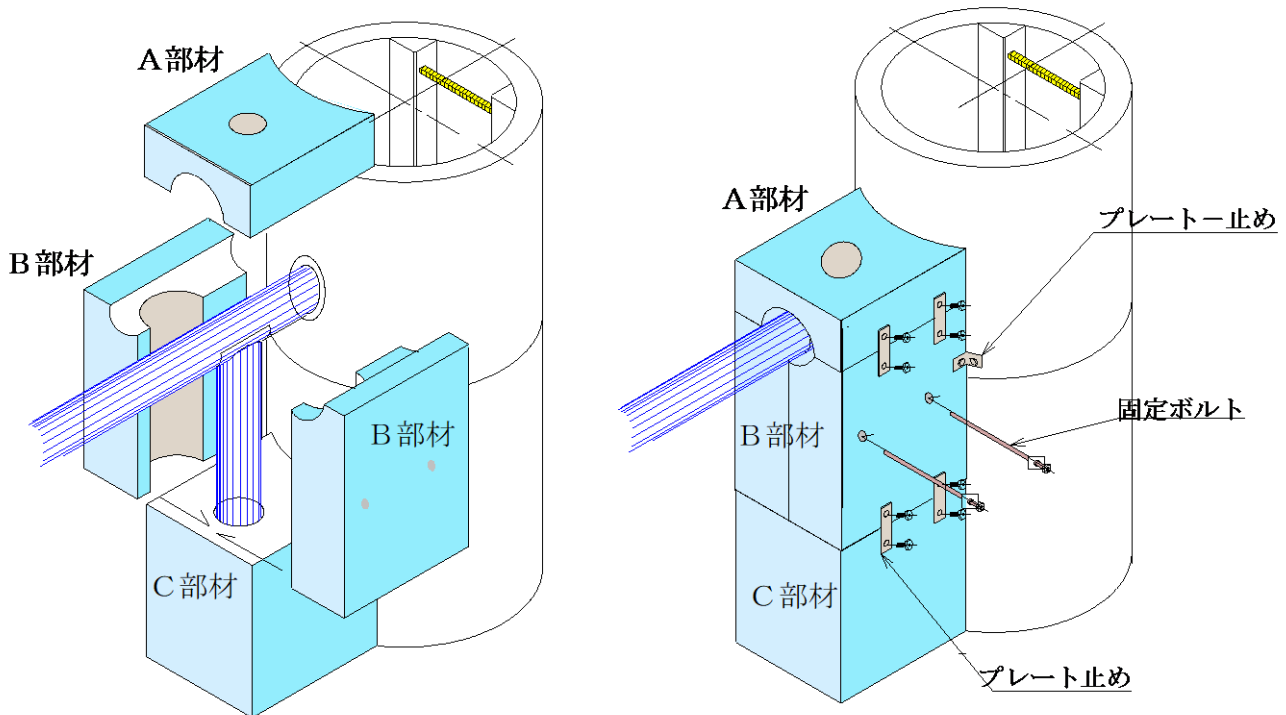


副管ブロック (1号マンホール)

- 対応できる副管の管径、 $\phi 150$ です。
- 底付管取付壁にC部材を取り付けた状態で搬入されます。
- 流入管をセットして副管をC部材に埋め込んでいる塩ビソケットに差込みます。
- B部材、A部材をセットしプレート及びボルトで部材を固定します。



*A部材を使用しないでB部材を管底から300mm下げた所で製作する事も出来ます。

